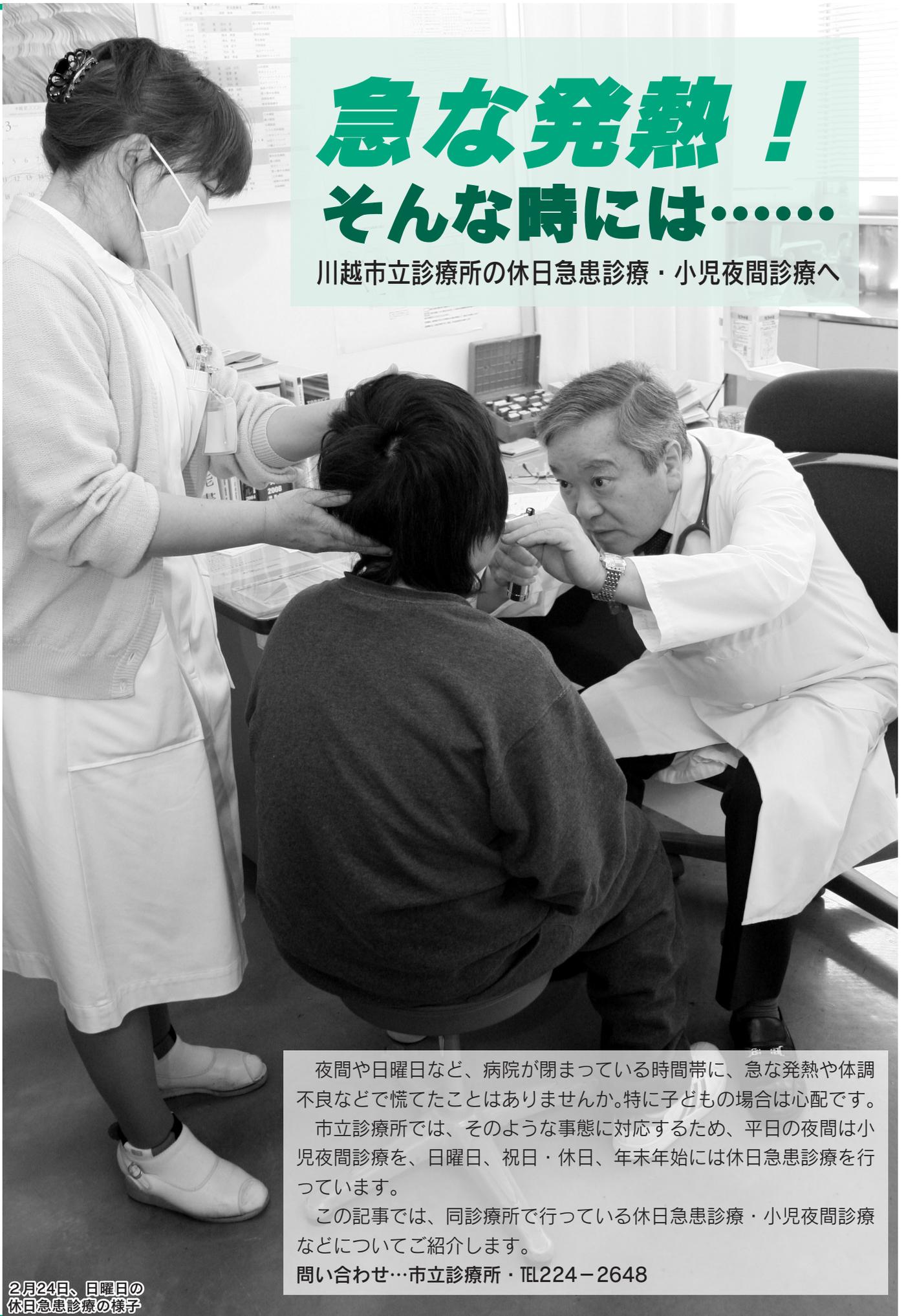


# 急な発熱！ そんな時には……

川越市立診療所の休日急患診療・小児夜間診療へ



夜間や日曜日など、病院が閉まっている時間帯に、急な発熱や体調不良などで慌てたことはありませんか。特に子どもの場合は心配です。

市立診療所では、そのような事態に対応するため、平日の夜間は小児夜間診療を、日曜日、祝日・休日、年末年始には休日急患診療を行っています。

この記事では、同診療所で行っている休日急患診療・小児夜間診療などについてご紹介します。

問い合わせ…市立診療所・TEL224-2648

2月24日、日曜日の  
休日急患診療の様子

## 休日急患診療

市立診療所では、市医師会・市薬剤師会の協力を得て、休日急患診療を行っています。同診療所での休日急患診療は、昭和五十四年に始まりました。日曜日、祝日・休日、年末年始に内科と小児科の診療を行っています。診療時間などについては、五ページの表をご覧ください。

### ●市医師会所属の医師が、診療に当たります

休日急患診療は、市医師会に所属し、初期救急医療に関して豊富な知識を持っている内科医が、当番制で診療に当たっています。

### ●土曜日は休診です

原則として、土曜日は診療を行っていません。他の医療機関をご利用ください。

土曜日が祝日や年末年始の場合は、診療を行います。

## 小児夜間診療

休日急患診療は、十五歳以下の受診者が全体の七割を占めています。そこで、十五歳以下の子どもの救急医療体制をより充実させるため、平成

十六年七月に、平日夜間の診療が始まりました。

休日急患診療と同様に、市医師会・市薬剤師会の協力を得ています。診療時間については、五ページの表をご覧ください。

### ●十五歳以下の子どものための診療です

平日の小児夜間診療は、体調の変わりやすい、十五歳以下の子どもに対応するために開設されています。そのため、診療は小児科のみです。

休日急患診療同様、初期救急医療に関して豊富な知識を持つ小児科医と内科医が、当番制で診療しています。

### 休日急患診療・小児夜間診療を受診する際は？

### ●応急処置をするための診療です

同診療所の休日急患診療・小児夜間診療は、比較的軽い症状に対して行う初期救急医療です。受診した方に対して行うのは、あくまでも応急処置です。受診した翌日以降は必ず、かかりつけの医療機関で診療を受けてください。もし、より専門的な診療を

道炎や気管支炎を中心に、かぜ症候群での受診が多くなっています。そのほかには、胃腸炎やウイルス性の疾患で診療に訪れています。ことしは、インフルエンザの患者が昨年より少ないようです。市民の皆さんが、予防を徹底している表れではないでしょうか。

急に体調が悪くなったときは、大丈夫だろうと自己判断せず、早めの受診をお勧めします。子どもの場合、機嫌がよければあまり心配する必要はありません。機嫌が悪かったり、ぐったりしているようですと急を要します。大人・子どもを問わず言えることですが、具合が悪くなったとき、周りも本人も慌てないことが大切です。

また、子どもが受診する際には、どのような症状なのか説明できる人が付いてきてくれると、診療がスムーズに進みます。最近の保護者の皆さんは、症状を詳しく教えてくれるので、助かっています。



## 医師から見た 休日急患診療と 小児夜間診療

川西市医師会  
まつもとまさし  
松本正自さん

休日急患診療・小児夜間診療のいずれも、軽症に対して診療をしています。さまざまな症状に対応できるようにして診療に臨んでいます。

休日急患診療は、15歳以下の子どもの割合が高くなっています。特に乳幼児は体調が急変しやすく、子どもの中でもおよそ7割を占めています。このような背景があり、平日の小児夜間診療が開設されました。

年間を通して大人・子どもを問わず、急性上気